

# やまゆり

学校だより

令和5年12月22日  
71号  
学校長 杉本賢二

校訓 「和の心」  
学校教育目標 「社会に貢献しながら自立する生徒の育成」一気づき・考え・実行するー  
校内研究重点 「個別最適な学びと協働的な学びで、主体的に学習する生徒を育成する」

学校教育重点目標 「豊かな心の育成」

## 2学期の「終業式」を行いました

本日、2学期の終業式を行いました。

一人一人の生徒が、「節目」を大切に**する**気持ちをしっかりともち、静寂を保ちながら会場に集合しました。話す人を見つめ、微動だにしないその姿から、2学期を振り返り、より良い自分や学校を創造しようとする**決意**を感じました。

### 校長からの話

① 生活・学習・部活動・委員会・若鮎祭等の大きな成果の要因について考える。

- 1) 各自が努力し**出来たこととその原因**を明らかにする。
- 2) **3年生**が様々な場面でリーダーとして主体的に活躍したこと。
- 3) 他校ではできない、道の駅での**太鼓演奏・救急救命等の「レア」な活動**に挑戦した。
- 4) 異年齢での交流を活性化するための**合同学活**で成果を得られた。
- 5) 防犯・社会を明るくする作文・少年の主張・英語・税等の**表現活動**での優勝・入選
- 6) 下級生が、上級生の創り出した**伝統**を引き継ぎ発展させようとしている。

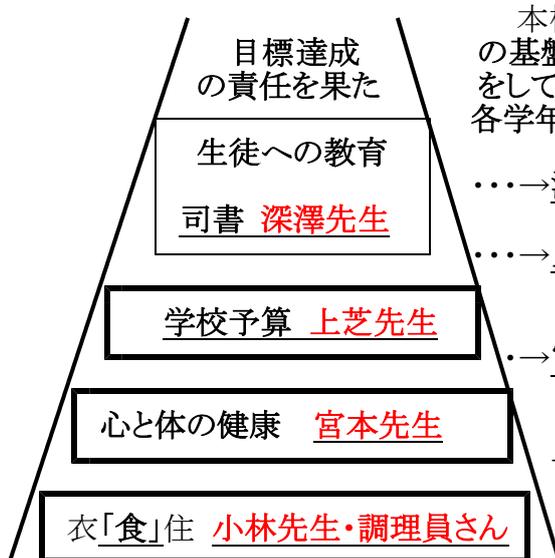
例 身近な平和を創る・上級生を超える活動・挑戦する活動・いじめサミット参加予定

② 3学期の更なる飛躍のために、計画を実行し、冬休みを充実させる。

- 1) 心と体の健康が第一であること。危険を回避し、病院に通い体調を万全にする。
- 2) 家族の一員として掃除や洗濯などの家事を積極的にする。
- 3) 自分の時つげのためにフォーサイト(計画表)やNINO(学習の基礎となる5つの力の検査の結果)を活用し、計画と実行、修正の努力をする。

学校教育重点目標 「生徒の良さを伸ばし、課題を改善する連携」

## 学校教育を支える教職員・調理員さんへの理解と感謝



本校の2学期の多くの成果を支えてくれたのは、教育活動の基盤である「食や健康や予算、図書館教育」に関わる仕事をしてくれた先生方のお陰です。そのしっかりした基盤の上で各学年や教科・部活動等の成果を得ることが出来ました。

…→深澤先生の司書の指導・行事等での対応

…→上芝事務職員の事務手続きと予算執行

→宮本養護教諭の心と体の保健指導・予防・対応

→小林栄養教諭・3名の調理員さんの毎日の給食

教育活動は、直接指導する「教科や学年の先生方の指導」が重要であることは承知の通りです。

しかし、教科においても学年指導においても、当該の先生方だけでは毎日の指導は出来ません。

例えば、給食の提供が出来なければ学校は半日になってしまいます。心と体の栄養源が給食です。また、心身の健康があり、感染症等の対応が出来ているから学校教育が成立しています。

さらに、教育活動は事務の仕事によって成立しています。例えば、芸術鑑賞の予算措置や執行、報告等は上芝先生が行いました。しかも、上芝先生は他校との連絡等の仕事もあり、学校に残って電話の応対や次年度の学校予算措置の仕事をしていました。図書館司書の深澤先生は本の貸し出しや、調べ学習、自習の監督、本の購入等の一切の業務や受付等の対応もしました。

仕事は、社会の役に立つためにチームで行うものです。2学期の生徒の成長と、充実した学校生活は小林栄養教諭さん・3名の調理員さん、養護教諭の宮本先生、事務職の上芝先生方、深澤先生方の努力の上にあるものと理解して下さい。校長からも感謝の言葉を贈りたいと思います。

学校教育を支えて下さり、ありがとうございました。今後もよろしくお願い致します。

小林栄養教諭と調理員さん



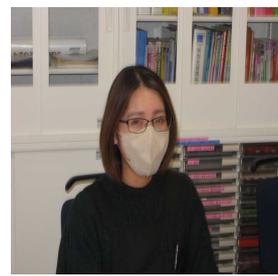
宮本先生



上芝先生



深澤先生



## 賞状伝達式受賞者一覧(R5.12.22.)

### 第42回夏休みの友紹介図書感想文コンクール

佳作 日下部 紫龍 さん【賞状】  
佳作 山口 結友 さん【賞状】

### 令和5年度JA共済小・中学生第46回交通安全ポスターコンクール

佳作 渡辺 脩大 さん【賞状】

### 第32回 増田誠大賞 小中学生の部

入選 加藤 景己 さん【賞状・記念品】  
入選 日下部 紫龍 さん【賞状・記念品】  
入選 佐藤 舞桜 さん【賞状・記念品】  
入選 山口 嶺 さん【賞状・記念品】

### 第32回山梨県中学校英語暗唱大会3年の部

2位 加藤景己 さん【賞状】

### 第34回南都留中学校英語暗唱大会3年の部

優勝 加藤 景己 さん【トロフィー・賞状】

### 第34回南都留中学校英語暗唱大会2年の部

3位 池谷 圭胡 さん【賞状】

### 税についての作文

道志村長賞 佐藤 雅也 さん【賞状】

### 第73回教育祭県下小中学校図工・美術作品展

県特選 佐藤 舞桜 さん【賞状】  
県特選 渡辺 脩大 さん【賞状】  
県特選 山口 結友 さん【賞状】

### 第73回南都留地区小中学校教育祭図工・美術作品展

郡特選 入井 垂穂 さん【賞状】  
郡特選 佐藤 愛維 さん【賞状】  
郡特選 入井 祿太 さん【賞状】  
郡特選 池谷 圭胡 さん【賞状】  
郡特選 加藤 景己 さん【賞状】  
郡特選 山口 桜愛 さん【賞状】

### 令和5年度道教協図工・美術大会

村長賞 佐藤 紗名 さん【賞状】  
議長賞 加藤 輝 さん【賞状】  
教育長賞 山口 優 さん【賞状】

### 第42回全国中学生人権作文コンテスト

支部入選 佐藤 雅也 さん【賞状】  
支部入選 白井 絢花 さん【賞状】  
支部入選 山本 千莉 さん【賞状】

### 第73回“社会を明るくする運動”

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～ 山梨県作文コンテスト

**県最優秀賞** “社会を明るくする運動” 山梨県推進委員会委員長賞

**山口 桜愛 さん**【12月26日(火) 県立図書館にて表彰式参加予定】

学校教育重点目標 「生徒の良さを伸ばし、課題を改善するための連携」

「令和のやまなし教育活動モデル事業」の成果を他校の実践に生かしています

校長先生・研究主任さん以下、熱心に学ぶ他校の先生方



本校の実践を学んだ感想

- 子どもたち一人一人の思いを大切に学級指導していく
- 適切な手立てを取りながら対応していくことの大切さ
- QUのデータや大事にすべきことを具体的に学んだ
- 3学期の学級経営に向けて大切なポイントを教えて頂いた
- もっと教えて頂きたいので、質問を送ります 今後も指導を

全国紙の日本教育新聞で、本校の実践が7回連載で紹介されます 2回目の学級経営

## 次世代リーダーを育てる ③

杉本 賢二 山梨・道志村立道志中学校校長

「安定と活性化」両立した学級づくり

今回は早稲田大学の河村茂雄教授の提唱する「安定と活性化」を両立した学級づくりを「三つの班の機能」で構築する実践を紹介する。

現在の学級集団には、規律の定着や人間関係の充実によって多様性を尊重し、主体的に協働することが求められている。しかし、現実にはいじめや不登校、協働的な学びの形骸化等の問題があり、実現は難しい。その原因として、等質的な人間関係に閉じており、一人一人の心理的な安全が担保されていないことが考えられる。

そこで、班の「三つの機能」を活用して組織でその実現を目指した。

班の機能の一つ目は「居場所としての機能」である。生徒の心理的安全性を担保できるように、各種調査や日常の観察、面接を踏まえて意図的な班編成や支援を行った。また、生徒も班長を中心に班のメンバーに合った配慮と関わりを心掛けた。学級の班を居場所と感じられるように取り組んだ。

二つ目は、学級目標や

## 居場所・組織・非認知能力の育成 班の3機能生かそう

生徒が合意して決めた課題等に取り組み「組織としての機能」である。毎日の取り組みを通して課題を解決し、居心地良くやる気のある学級づくりを推進した。生徒が設定した課題の達成後は班替えにより、「班員を少しずつ代える、班長も代える、生徒同士を緩くつなぐ」ことで私的な人間関係の固定をなくし、多様性を認める生徒同士の交流を増やした。

三つ目は、上記二つの取り組みを通して嫌なことがなく、お互いの努力を承認する関係づくりや本音の感情交流や協働体験によって、「非認知能力」を育成する機能である。

以上の班の三つの機能を活用して安定を徹底し全教科の言語活動で主体性の向上を図り、標準化検査で検証している。

この実践により、一人一人に居場所があり、ありのままが許容され、忸怩せずに自分の本音が語れる学級の構築を、若手の教職員で実現している。しかも、6月の早期実現により、教育課題を予防し、教育成果を最大限に生かせる効果がある。

